



2020年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年3月9日

上場会社名 ライクキッズ株式会社
 コード番号 6065 URL <https://www.like-kn.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 石井 大介

TEL 03-6431-9899

四半期報告書提出予定日 2020年3月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第3四半期の連結業績(2019年5月1日～2020年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第3四半期	16,317	10.4	479	44.5	561	47.1	366	49.8
2019年4月期第3四半期	14,777	14.8	864	38.2	1,061	10.1	729	6.7

(注) 包括利益 2020年4月期第3四半期 378百万円 (49.4%) 2019年4月期第3四半期 748百万円 (6.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第3四半期	34.95	30.61
2019年4月期第3四半期	69.60	60.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期第3四半期	18,144	6,732	37.1	642.28
2019年4月期	18,440	6,353	34.5	606.14

(参考) 自己資本 2020年4月期第3四半期 6,732百万円 2019年4月期 6,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期		0.00		0.00	0.00
2020年4月期		0.00			
2020年4月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	11.0	600	27.7	2,400	12.7	1,525	23.5	145.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年4月期3Q	10,482,000 株	2019年4月期	10,482,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年4月期3Q	219 株	2019年4月期	186 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年4月期3Q	10,481,788 株	2019年4月期3Q	10,481,814 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、新型コロナウイルス感染症が国内外の経済に与える影響、通商問題を巡る動向等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に留意することが必要になっております。

保育業界におきましては、政府が待機児童を2020年度末にゼロにする目標を掲げておりますが、10月には幼児教育・保育の無償化も開始し、更なる受け皿の拡大を推進すべく、政府や自治体による施設の整備や保育士の賃上げ支援等、保育施設の新規開設と保育士の確保を推進するための様々な施策が検討されております。

このような状況のもと、当社グループでは、親会社であるライク株式会社の連結子会社で総合人材サービス事業を営むライクスタッフィング株式会社との連携により、保育士の採用力と定着率の向上を図り、認可保育園・学童クラブ等の公的保育施設の開設と、事業所内保育施設の運営受託の強化と収益性の改善、利用者様から選ばれ続ける質の高い保育サービスの提供と研修コンテンツの拡充による保育業界における人材の創出に注力いたしました。

また、2019年10月1日に、当社は「ライクキッズ株式会社」へ商号を変更いたしました。

当第3四半期連結累計期間において新たに開園した施設は3施設で、セグメント別の内訳は下記の通りであります。

(受託保育事業)	合計2施設
・企業内保育施設	合計2施設
兵庫県 1施設（川西市1施設）	
愛知県 1施設（豊田市1施設）	
(公的保育事業)	合計1施設
・認可保育園	合計1施設
東京都 1施設（中野区1施設）	

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は163億17百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は4億79百万円（同44.5%減）、経常利益は5億61百万円（同47.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億66百万円（同49.8%減）となりました。

減益の要因は、主に、認可保育園における売上に計上する運営補助金の加算額が前年同期より約90百万円減少したこと、2019年4月に新規開設した認可保育園の賃借料の補助金で第4四半期連結会計期間以降に入金予定のものがあること、2020年4月の認可保育園の新規開設予定が21ヶ所とライクアカデミー株式会社設立以来最大数となることに対し新規開設に向けた人材の確保が好調で人件費が増加していることとなりますが、計画に織り込んでいるものであり、かつ、当第3四半期連結累計期間で、計画を上回って進捗しておりますので、2019年6月10日に公表いたしました通期業績予想に影響はございません。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(受託保育事業)

受託保育事業におきましては、企業・病院・大学等が設置する保育施設を受託運営しておりますが、2017年4月の契約更新分から毎年契約を見直しており、全体の受託数は減少したものの、多くの施設で適正な利益での契約更改が成功した結果、減収増益となりました。また、従業員様向けに企業が設置する事業所内保育施設の運営受託に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は27億52百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は2億41百万円（同8.6%増）となりました。

(公的保育事業)

公的保育事業におきましては、立地等の条件面でも保育の品質においても利用者様に選ばれ続ける認可保育園や学童クラブ等の新規受注と開設に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は135億65百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益は10億89百万円（同20.0%減）となりました。

減益の要因は、主に、認可保育園における売上に計上する運営補助金の加算額が前年同期より約90百万円減少したこと、2019年4月に新規開設した認可保育園の賃借料の補助金で第4四半期連結会計期間以降に入金予定のものがあること、2020年4月の認可保育園の新規開設予定が21ヶ所とライクアカデミー株式会社設立以来最大数となることに対し新規開設に向けた人材の確保が好調で人件費が増加していることとなりますが、計画に織り込んでいるものであり、かつ、当第3四半期連結累計期間で、計画を上回って進捗しておりますので、2019年6月10日に公表いたしました通期業績予想に影響はございません。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、181億44百万円（前期末比2億95百万円減）となりました。

流動資産につきましては、42億96百万円（同19億3百万円減）となりました。これは、現金及び預金が11億6百万円、受取手形及び売掛金が2億54百万円、未収入金が7億7百万円減少したためであります。

固定資産につきましては、138億48百万円（同16億7百万円増）となりました。これは、主に公的保育事業における新規施設の建設仮勘定及び敷金が増加したためであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、114億12百万円（前期末比6億74百万円減）となりました。

流動負債は57億64百万円（同71百万円増）となりました。これは、主に短期借入金が8億50百万円増加し、未払法人税等が5億12百万円、賞与引当金が1億57百万円減少したためであります。

固定負債につきましては、56億47百万円（同7億45百万円減）となりました。これは、主に長期借入金の返済により7億54百万円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、67億32百万円（同3億78百万円増）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益3億66百万円による利益剰余金の増加によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年6月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,810,744	2,704,177
受取手形及び売掛金	1,265,522	1,011,145
原材料及び貯蔵品	425	425
未収入金	715,710	8,703
その他	411,657	576,851
貸倒引当金	△4,259	△4,562
流動資産合計	6,199,800	4,296,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,903,458	10,986,053
減価償却累計額	△2,486,575	△2,937,598
建物及び構築物(純額)	8,416,883	8,048,455
リース資産	930,371	913,607
減価償却累計額	△209,708	△261,286
リース資産(純額)	720,662	652,320
建設仮勘定	145,839	2,023,171
その他	712,813	717,738
減価償却累計額	△433,490	△505,555
その他(純額)	279,323	212,183
有形固定資産合計	9,562,709	10,936,130
無形固定資産	81,522	101,006
投資その他の資産	2,596,552	2,811,085
固定資産合計	12,240,784	13,848,222
資産合計	18,440,585	18,144,962

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,650,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,054,905	1,005,508
リース債務	37,508	38,091
未払金	992,723	967,465
未払法人税等	512,798	-
未払消費税等	90,731	105,653
前受金	425,181	763,968
賞与引当金	448,117	290,445
その他	481,985	93,849
流動負債合計	5,693,950	5,764,982
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	4,051,945	3,297,814
リース債務	659,521	630,879
退職給付に係る負債	238,982	268,710
資産除去債務	442,752	450,327
固定負債合計	6,393,200	5,647,730
負債合計	12,087,151	11,412,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	285,771	285,771
資本剰余金	510,439	510,439
利益剰余金	5,564,584	5,930,938
自己株式	△139	△174
株主資本合計	6,360,655	6,726,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	125
退職給付に係る調整累計額	△7,315	5,149
その他の包括利益累計額合計	△7,221	5,275
純資産合計	6,353,434	6,732,250
負債純資産合計	18,440,585	18,144,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)
売上高	14,777,367	16,317,691
売上原価	12,202,289	13,862,415
売上総利益	2,575,078	2,455,275
販売費及び一般管理費	1,710,738	1,975,530
営業利益	864,339	479,744
営業外収益		
受取利息	5,174	5,380
設備補助金収入	193,638	102,033
その他	24,886	15,976
営業外収益合計	223,699	123,390
営業外費用		
支払利息	26,783	28,093
補助金返還額	—	12,108
その他	239	1,348
営業外費用合計	27,022	41,550
経常利益	1,061,016	561,584
特別利益		
固定資産売却益	143	—
特別利益	143	—
特別損失		
固定資産除却損	4	35
固定資産売却損	0	20
本社移転費用	—	46,797
特別損失	5	46,853
税金等調整前四半期純利益	1,061,154	514,731
法人税等	331,651	148,377
四半期純利益	729,502	366,353
親会社株主に帰属する四半期純利益	729,502	366,353

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	729,502	366,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	31
退職給付に係る調整額	18,552	12,465
その他の包括利益合計	18,519	12,496
四半期包括利益	748,021	378,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	748,021	378,850

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年5月1日 至 2019年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,871,425	11,905,942	14,777,367	—	14,777,367
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,871,425	11,905,942	14,777,367	—	14,777,367
セグメント利益	222,149	1,361,497	1,583,647	△719,307	864,339

（注）1. セグメント利益の調整額△719,307千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年5月1日 至 2020年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,752,442	13,565,248	16,317,691	—	16,317,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,752,442	13,565,248	16,317,691	—	16,317,691
セグメント利益	241,341	1,089,336	1,330,677	△850,932	479,744

（注）1. セグメント利益の調整額△850,932千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。